

在台湾学汉语

第二十八届足羽高中汉语短训班

第二期

2019.2.15

星期五

暖かい台北と温かい歓迎！

道中交通渋滞もなく、関西国際空港に到着。10時20分から搭乗手続きを始め、出国手続きまでスムーズに流れ、時間的な余裕が生まれた結果、自由時間も持てました。しかし、搭乗が20分ほど遅れ、13時15分にエバー航空 BR131 便が台湾へ向けて飛び立ちました。

飛行機はほぼ満席で、機内では各自、好みの映画を観たり、中華風機内食を味わったり等、快適な空の旅となりました。現地時間15時15分頃、無事台北桃園国際空港に到着。空港ロビーでは、今回担当の陳先生が出迎えをしてくださいました。迎えのバスに乗り込むと、早速、両替済みの台湾の紙幣が手渡され、研修がいよいよ始まるのだという実感が湧きました。

18:00 過ぎに大学に到着。各自荷物を部屋に運び入れると、18:40には毎年恒例となった「东門饺子馆 (Dōngmén jiǎoziguǎn)」で餃子をはじめ、エビチャーハンや青椒肉絲等といった中華料理に舌鼓を打ちました。



《生徒の日誌より》

台湾と日本の違いを大学へ行くまでのバスから見た風景や夜ご飯を食べに行くときの道で見ることが出来ました。建物の色や形が日本では見たことがないものがたくさんあって見ていて楽しかったです。
(清水 菜海)



台北の晩ご飯は、日本とは全く違い、俺は食べられる味でおいしかった。これからもしっかりと学び、台北を楽しみたいと思います。(朝倉 弘樹)



今日移動ばかりの1日でした。飛行機は初めて乗ったのでドキドキしました。縦揺れがひどくて気持ち悪かったです。同室の子とけんかしないように、いつの通り仲良く生活したいです。(高野 静流)

明日からは授業も始まって台湾の学生さんや先生と話したり、交流したりする機会が増えるので、自分からコミュニケーションをとったり、学んできたことを生かして話していくないです。(黒川 美織)

